

VE-E29

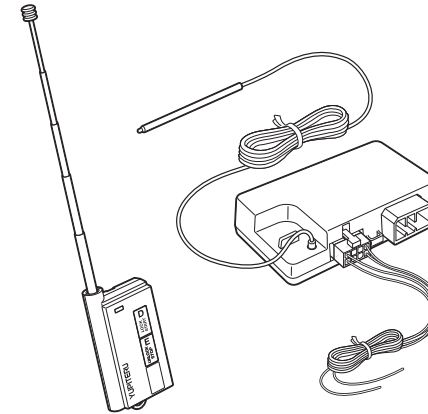
取扱説明書

保証書

(持込修理)

本書は、本書記載内容(裏面記載)で、無料修理を行うことを、お約束するものです。保証期間中に、正常なご使用状態で、故障が発生した場合には、本書をご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

品 番 VE-E29 (テレコントロールエンジンスターター)	
S/No.	
お買い上げ日	年 月 日 お買い上げ年月日の記載がない場合、無料修理規定外となります。
保証期間	お買い上げの日より 3年 (リモコンは1年。電池などの消耗部品は除く)
お名前	様
お客様	
ご住所	
TEL.()	
販売店	店名・住所 上欄に記入または捺印の無い場合は、必ず販売店様発行の領収書など、お買い上げの年月日、店名等を証明するものをお貼りください。



このたびは、ユピテルのテレコントロールエンジンスターターをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。なお、お読みになられたあとも、いつでも見られる場所に大切に保管してください。

また本機は、電波法第四条「技術基準適合証明を受けた無線局」および電波法施行規則第六条「特定小電力無線局」に該当するテレコントロールシステムです。

目次

はじめに	主な特長	2
	ご使用の前に	4
	各部の名称とはたらき	7
操作する	エンジンを始動させる	8
	エンジンを停止させる	10
	車への乗車	10
	ドアロック / アンロックの操作	11
	エンジンスターターの設定	12
	セル時間の設定	
	アイドリング時間の設定	
	グロー時間の設定	
	ターボタイマー機能の ON/OFF 設定	
	セルモーター停止タイミング検出方法選択	
	始動判定方法選択	
その他	IG 設定	
	エンジンスターター特殊制御設定	
	オールリセット	
	ターボタイマー機能について	16
	スリープ機能について	17
	安全機能について	17
	電池交換のしかた	18
	リモコンの登録方法	19
	車内で『ビビビッ ビビビッ』音が鳴っている場合	20
	こんなときは	22
	仕様	23
アフターサービスについて	24	
保証書	裏表紙	



警告

取り付けには、専門知識が必要です。

安全のため、取り付けはお買い求めいただいた販売店様やカーディーラー様に依頼ください。

- ・本機は、販売店様やカーディーラー様での取り付けを対象としております。
- ・お客様ご自身での取付作業に対するサポートは行っておりません。
- ・お客様ご自身で取り付けられた場合の保証は受けられません。

■取り付け可能な車

- ・車種別専用ハーネスの設定がある車
- ・オートマチック(AT)車
- ・12V車で、 $\ominus$ アースの車
※ 上記の3つの条件を満たす車以外ではご使用いただけません。
- ・マニュアル車・外国車には取り付けできません。

■ 目立たないスパイラルアンテナを採用し、車内スッキリ

車内のインテリアデザインをそのままに、メインユニットのアンテナに目立たないスパイラルアンテナ(特許出願中)を採用しました。

■ 電波到達距離(直線見通し)3,000mを実現

高度な通信技術、エンジン始動制御技術の採用により、安定したエンジンの始動・停止ができます。

市街地、住宅地(見通し) 約300m(300m~700m)
妨害電波の少ない河川道路(見通し) 2,000m~最大3,000m(当社測定)

- ※ 実用通信距離は一般的な電波環境での目安であり、通信距離をお約束するものではありません。電波の届かない地下や屋内では表記通信距離より短くなることがあります。
- ※ ファンモーターなどのノイズの大きな車では、エンジンを始動させるときに比べ、停止させるときのほうが短くなることがあります。
- ※ 車輦の周囲の安全を十分に確認できる範囲でご利用ください。

■ 万一の事故を防止する充実の安全機能

本機により、エンジンを始動させるときや始動したあとに、さまざまな安全機能が働き、万一の事故を防止します。

① エンジン自動停止機能

本機でエンジン始動したあと、設定した時間が経過するとエンジンが自動的に停止します。

② P・ポジション検出

シフトレバーがパーキング(P)またはニュートラル(N)ポジション以外のときは、エンジンの始動はできません。また本機でエンジンを始動させたあと、キーを差し込んだ状態で(ONポジションにキーを回さないまま)シフトチェンジすると、エンジンが自動的に停止します。

- ※ 一部の車輦では、P・(パーキング)ポジション検出ができないものや、できにくいものがあります。この場合には、フットブレーキまたはP・ポジションインジケータランプへの接続が必要です。接続しないと、本機は動作しません。
- フットブレーキに接続した場合は、フットブレーキを踏むとエンジンが停止します。またP・ポジションインジケータランプに接続した場合には、シフトレバーがパーキング(P)の位置以外ではエンジンを始動できません。

■ 安心の3年保証

お客様に安心してご使用いただけますように、3年間の保証をご提供いたします。

- ※ 3年保証はメインユニット(リモコンは1年、電池等の消耗部品は除く)が対象となります。

■ 誤作動を防ぐIDコード

1億通りの中から商品ごとに個別のIDコードを設定。他の電波による誤作動を防止します。

■ セル時間設定 (☛ 12ページ)

車にあわせて、セルモーターの始動時間を、0.7/1.0/1.3/1.5/2.0/3.0/5.0秒の7段階から設定できます。

■ アイドリング時間設定 (☛ 12ページ)

季節、気候にあわせたアイドリング時間を、2/10/15/20/30分の5段階から選択できます。

■ ターボタイマー機能 (☛ 12ページ)

走行時間にあわせて、アフターアイドリングを、30秒/1分/1分30秒/2分/3分の中から自動で設定します。

- ※ P・ポジションを自動検出できない車輦の場合は、P・ポジションインジケータランプへの接続が必要です。(フットブレーキへの接続では動作しません)

■ スリープ機能 (☛ 17ページ)

車を使用しない状態が14日以上続くと、バッテリーの消耗を抑えるスリープ機能が働きます。スリープ機能が動作すると、本機によるエンジン始動はできません。スリープ機能を解除するときは、1度車のキーを使ってエンジンを始動させてください。

■ リトライ機能 (☛ 9ページ)

1回でエンジン始動できなかったときに、再始動を自動的に2回まで行います。

■ 多彩なオプション

- ※ オプション品については、予告なく仕様を変更したり、販売を終了する場合があります。あらかじめご了承ください。

① ドアロック/アンロック機能(別売A-17SF:キーレスエントリー)

離れた場所から、本機リモコンでドアロック/アンロックができます。

- ※ 別売のアダプターやドアロックハーネスが必要となる場合があります。

② ハザードアンサーバック機能(別売A-18SF:ハザード制御)

本機でのエンジン始動時、ハザードランプを3回点滅させてエンジンがかかったことをお知らせします。

また、本機でのドアロック/アンロック時にハザードランプを点滅(1回/2回)させることができます。

③ ドアミラーコントロール機能(別売A-35SF:ドアミラーコントロール)

本機リモコンのドアロック・アンロック操作でドアミラーの開閉ができます。

- ※ 適応車種限定 詳しくは弊社サービス部または販売店にお尋ねください。

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。ここに記載された注意事項は、製品を正しくお使いいただき、使用の方への危害や損害を未然に防止するためのものです。安全に関する重大な内容ですので、必ず守ってください。また、注意事項は危害や損害の大きさを明確にするために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」、「注意」の2つに分けています。

⚠警告：警告を無視した取り扱いをすると、使用者が死亡したり重傷を負う可能性があります。

⚠注意：注意を無視した取り扱いをすると、使用者が傷害や物的損害をこうむる可能性があります。

絵表示について

△ △ 記号は注意を促す内容であることを告げるものです。

⊘ ⊘ 記号は禁止の行為であることを告げるものです。

● ● 記号は行為を強制したり、指示を告げるものです。

⚠警告

❗ シフトレバーは必ずパーキング(P)の位置で、パーキングブレーキをかけた状態で使用する…思わぬ事故の原因になり大変危険です。

⊘ 車の近くに燃えやすいものがある場所では、使用しない…発火の恐れがあります。

⊘ 車のボディカバーをかけたまま使用しない…発火や排気ガスによる中毒の恐れがあります。

⊘ 換気の悪い車庫や屋内では、使用しない…排気ガスによる中毒の恐れがあります。

⊘ お子様などを車に乗せたままでは、絶対に使用しない…室内はキーでエンジンを始動した場合と同じ状態になり、大変危険です。

❗ リモコンはお子様の手の届かない場所に保管する…お子様が勝手にエンジンを始動させ、事故の原因となります。

❗ 必ずボンネットが閉まっている状態で使用する…エンジン部の作業中にエンジンが始動すると、大変危険です。

⊘ 暖機運転の直後にエンジン点検などを行わない…火傷をする恐れがあります。エンジン停止後、少なくとも5分以上経過したあと、十分注意して行ってください。

⊘ 煙がでている、変な臭いがするなど、異常な状態のまま使用しない…発火の恐れがあります。すぐに使用を中止して、販売店に修理を依頼してください。

❗ 万一、破損した場合は、すぐに使用を中止する…そのまま使用すると火災や感電、事故の原因となります。

⊘ サービスマン以外の人は、絶対に機器本体および付属品を分解したり、修理しない…感電や故障の原因となります。内部の点検や調整、修理は販売店にご依頼ください。

⚠警告

❗ 思わぬ事故を防ぐために、次のような場合は、必ずリモコンの電池を抜いてください

- ボンネットを開けるとき
- 整備や車検などで車を第三者に預けるとき
- 本機の使用方法を理解されていない方が運転するとき
- 長期間、車を使用しないとき

❗ 走行するときは、いったん本機でエンジンを停止させ、必ずキーで再始動する
本機でエンジンを始動させた状態では走行できません
エンジンが作動している状態でのキーの誤操作はセルモーターの再飛び込みなど車を傷める危険があるばかりでなく、思わぬエンジンの停止や、ハンドルロック未解除のままの発進など、車の安全装置が働かないままで動き出すなどの事態をまねく危険性があります。

⊘ 本機でエンジンを始動した際は、シフトロック解除機能等による通常の運行操作以外でシフト操作をしない…エンジンスターターの安全機能が働かず、思わぬ事故につながる場合があります。

❗ 車輛の周囲の安全を十分に確認できる範囲で使用する

⊘ むやみに操作ボタンを押さない…リモコンの電波は周辺環境により、思わぬ遠方まで届く場合があります

❗ あらかじめ駐車時には以下のことを守る

- ワイパー、ラジオ(オートアンテナ車の場合)をOFFにしてください。エンジン始動を行ったときに動き出すので危険です。また凍結した場合、モーターの損傷や車種別専用ハーネスのヒューズ切れを起こす恐れがあります。
- すべての窓を閉めてください。
- すべてのドアを施錠(ロック状態)してください。
- 坂道や傾斜地でご使用になるときや、冬期でパーキングブレーキを解除して使用するとき、必ず輪止めをしてください。

- 一般公道での使用、締め切った場所での使用はおやめください。
- 地域により車輛の停車中にみだりにエンジンを始動させた場合、条例等により罰則を受ける場合がありますので、ご注意ください。



本機を取り付けたことによる、車輛や車載品の故障、事故等の付随的損害については、一切その責任を負いません。

ご使用の前に

ご注意 電波法について

- 電池カバー内側の技術基準適合証明ラベルをはがさないでください。はがして使用すると、電波法により罰せられることがあります。
- 海外では使用しないでください。

ご注意 本機の機能について

- オートライトコントロールシステムやコンライトシステム搭載車などで、本機をご使用になる場合
オートライトコントロールシステムやコンライトシステム搭載車*で、夜間に本機を使用するときは、ライトスイッチを「OFF」にしておいてください。「AUTO」の状態では本機によりエンジン始動をした場合、ライトが点灯して、エンジンが停止したあとも消灯しません。
※暗くなると自動的にライトが点灯するシステム。エンジンが停止したあと、降車のためにドアを開閉することでライトが消灯します。
- 他の無線機やテレビ、ラジオ、パソコンなどの近くで使用すると、影響を与えたり、受けたりすることがあります。

ご注意 ご使用にあたって

- リモコンを持ち歩くときには、落下などの衝撃を与えないでください。
- リモコンは簡易防滴構造ですが、水につけたり、雨水などで濡れたりしないようにしてください。
- リモコンは、お子様の手の届かない場所に保管してください。
- リモコンを次のような場所に放置しないでください。
 - ・暖房器具の近くやダッシュボードの上など、温度の高くなる場所。
 - ・湿度の高い場所や、風通しの悪い場所。
 - ・ホコリや油煙の多い場所。
 - ・非常に温度の低い場所。
- リモコンのアンテナに強い力がかかるような取り扱いはいしないでください。

- 分解したり改造することは、電波法で禁止されています。改造して使用した場合は、電波法により罰せられることがあります。

- ドアロック(施錠)/アンロック(解錠)機能について(オプション対応)
アンテナタワーなどの強電界となる付近では、通信範囲が狭くなったり、ドアロック・アンロックができない場合があります。また、電池が完全に消耗してしまうとリモコン操作ができなくなりますので、車のキーは必ず携帯してください。
キーでエンジンをかけているときは、リモコンからの操作は無効となります。本機でエンジンを始動する直前(セルが回っている間)はドアロック/アンロック操作は受け付けません。

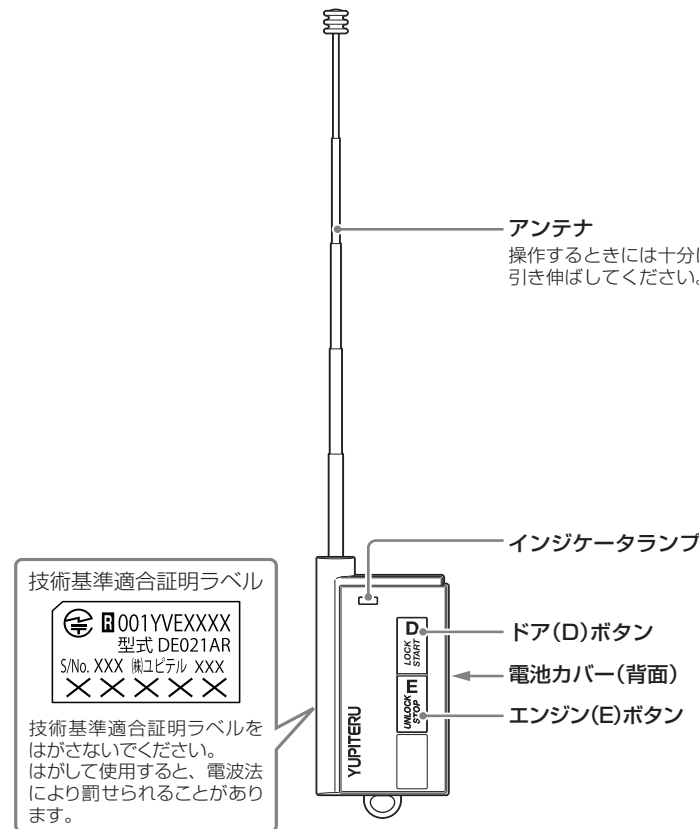
- リモコンが汚れたときは、柔らかい布でふいてください。ポリエステルなど静電気の起きやすいもの、またベンジンやシンナー、化学ぞうきん、洗剤は使用しないでください。
- ワイヤレスドアロックシステムやキーレスエントリーシステム装備車では、アイドリング中にドアのロック/アンロックができないことがあります。このようなときは、キーで操作してください。
- オートクルーズシステム搭載車や電動チルトステアリング・マイコンプリセットのドライビングポジションシステム装備車では、まれにこれらの機能が正常に動作しなくなることがあります。
- 整備や車検などで、第三者に車を預けるときは、不意のエンジン始動を避けるため、リモコンの電池を抜いてください。

各部の名称とはたらき

リモコン

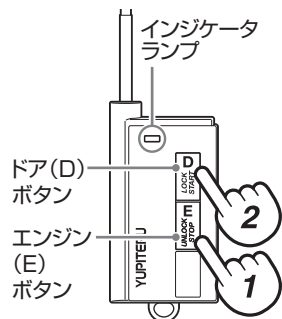
本機リモコンは、ダブルアクション操作(2回押し操作)により誤作動を防止しています。

ダブルアクションの最初にエンジン(E)ボタンを押した場合は、エンジンスターターの操作となり、最初にドア(D)ボタンを押した場合は、ドアロック/アンロックのキーレス操作*ができます。



- ※・別売 キーレスエントリー：A-17SF 接続時のみドアロック/アンロック動作が行えます。
A-17SF の他に、別売のアダプターやハーネスが必要となる場合があります。
・車種によって、ドアロック/アンロック機能を使用できない場合があります。

エンジンを始動させる



リモコンを操作するときは

- アンテナを完全に引き伸ばし、垂直に立てて操作してください。
- アンテナを手で覆ったり、触れた状態で操作すると電波が飛びにくくなります。

リモコンの操作

1 エンジン(E)ボタンをインジケータランプが点滅するまで押す



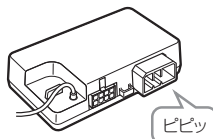
2 インジケータランプが点滅中(約3秒間)に、ドア(D)ボタンを押す



インジケータランプが点滅から、点灯(約2秒間)へ変わりスタート信号が送信されます。

リモコンからの信号を受信すると

3 安全機能のチェックを自動的に行う



4 エンジンを始動させる

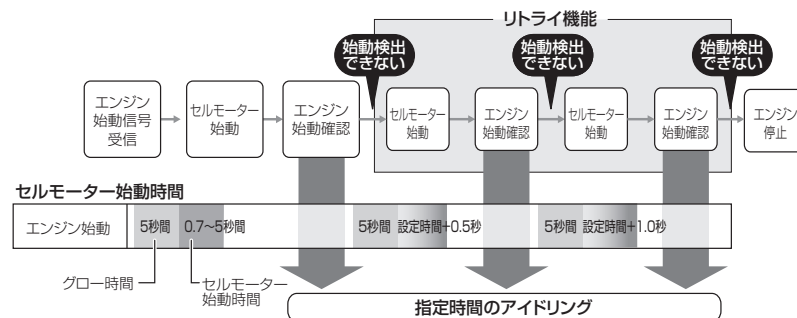
- 始動すると、アイドリング中はメインユニットから断続音が鳴り続けます。(本機でエンジンを始動させたことをお知らせします)
- 始動しなかったときは、リトライ機能が働きます。
- 別売 ハザード制御：A-18SFを接続していると、エンジン始動後、ハザードランプを3回点滅させて、エンジン始動をお知らせします。また、エンジン始動中に上記エンジン始動操作を行うとハザードランプを3回点滅させて、アイドリング中であることをお知らせします。

- 始動したあと、設定されている時間*が経過すると自動的にエンジンは停止します。

* 2分から30分。(アイドリング時間の設定は●12ページ参照)

リトライ機能とセルモーター始動時間について

エンジンが始動できなかったときに、再始動(リトライ)を2回行います。



- ※ オルタネータ線を接続した場合、エンジンの始動を検出すると、セルモーターを停止します。
- ※ 車種や電装品によっては、エンジンの始動確認ができず、再始動(リトライ)を繰り返す場合があります。このような場合は、オルタネータ線(白線)の接続が必要です。

警告

車輛の周囲の安全を十分に確認できる範囲で使用してください。また、むやみに操作ボタンを押さないでください。

リモコンの電波は周辺環境など、条件の良いところでは遠方(3km以上)まで届くことがあります。

車のバッテリーとエンジンスターター始動の関係

車のバッテリーの性能が低下しているときは、車のキーで始動させる場合に比べ、本機でのエンジン始動ができにくくなります。

このようなときはバッテリーを充電するか、新しいものと交換してください。

メモ

- 寒冷地では、オルタネータ線を接続し、バッテリーも大型のものと交換することをおすすめします。
- 車のバッテリー交換を行った場合は、再度P・ポジション検出(●20ページ)が必要です。

注意

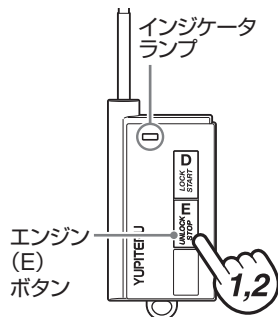
降雪時や寒冷地で車を駐車するときは…

車を駐車するときはワイパーなどの電源をOFFにしてください。

本機でエンジン始動の際、ワイパーの凍結などにより過大な負荷がかかり車種別専用ハーネスのヒューズが切れる恐れがあります。

エンジンを停止させる

本機でエンジンを始動したときは、以下の操作でエンジンを停止(アイドリングを中止)することができます。



リモコンの操作

- 1 エンジン(E)ボタンをインジケータランプが点滅するまで押す



- 2 インジケータランプが点滅中(約3秒間)に、エンジン(E)ボタンを押す



インジケータランプが点滅から、点灯(約2秒間)へ変わりストップ信号が送信されます。

リモコンからの信号を受信すると

- 3 エンジンが停止する

メインユニットからの断続音が鳴りやみます。

※ フットブレーキを踏んで、いったんシフトレバーをDまたはRの位置にすることで、エンジンを停止することもできます。

メモ

本機によるエンジン始動中、車載電装品のノイズなどによる影響で、リモコンの通信距離が短くなることがあります。

車への乗車

安全のため、いったんエンジンを停止させたあと、必ず車輛本来の操作(キー操作など)でエンジンを始動してください。

車を発車させる

- 1 リモコン操作でエンジンを停止させる

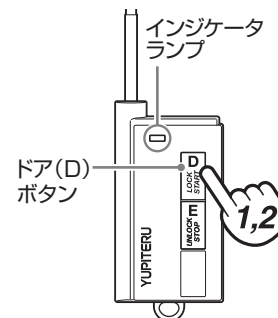
- 2 車輛本来の操作(キー操作など)で、エンジンを始動させる
走行できます。

ドアロック/アンロックの操作

別売 キーレスエントリー：A-17SFの接続が必要です。

※別売のアダプターやドアロックハーネスが必要となる場合があります。

車種によって、ドアロック/アンロック機能を使用できない場合があります。



※ 別売 ハザード制御：A-18SFを接続すると、ハザードランプを1回点滅させて、ドアがロックされたことをお知らせします。

ドアを閉める(ドアロック)

- 1 ドア(D)ボタンをインジケータランプが点滅するまで押す



- 2 インジケータランプが点滅中(約3秒間)に、ドア(D)ボタンを押す



インジケータランプが点滅から、点灯(約2秒間)へ変わり、ドアロック信号が送信されます。

ドアを開ける(ドアアンロック)

- 1 ドア(D)ボタンをインジケータランプが点滅するまで押す



- 2 インジケータランプが点滅中(約3秒間)に、エンジン(E)ボタンを押す



インジケータランプが点滅から、点灯(約2秒間)へ変わり、ドアアンロック信号が送信されます。

- 本機のリモコンは、ダブルアクション操作により誤作動を防止していますが、純正キーレスエントリーシステムに比べ電波到達距離が長いので、リモコン操作には十分に注意してください。
- 本機は、オートリロック機能(ドアアンロック後、ドアを開けない場合、自動的にドアロックする機能)を搭載していませんので、リモコンでドアアンロック後、乗車しない場合は、ドアのロック状態を確認してください。

本機は車輛や季節、気候にあわせて、最適にご使用いただくために、各種設定機能を設けてあります。

ご注意 「設定には専門知識が必要です」の記載がある項目は、不用意に設定を変更なさらないようお願いいたします。誤った設定は本機でエンジンが始動できなくなるだけでなく、セルモーター焼損など車輛の走行に支障をきたす場合がございます。設定変更が必要な場合は、本機取り付け店にご相談ください。

セル時間の設定（設定には専門知識が必要です）

車にあった、セル時間を0.7/1.0/1.3/1.5/2.0/3.0/5.0秒の7段階から選択できます。セルモーターの引きずりがある場合にはセル時間を短めに、エンジンが始動しにくい場合には長めに設定してください。設定には十分ご注意ください。

※工場出荷時は1.0秒に設定されています。

ポイント

オルタネータ線（白線）を接続している場合は、セル時間内にエンジンの始動検出ができると、セルモーターを停止します。

メモ

プッシュスタート車は変更できません。

アイドリング時間の設定

本機で始動した場合のアイドリング時間を2/10/15/20/30分の5段階から選択できます。

※工場出荷時は10分に設定されています。

グロー時間の設定

一部のディーゼル車などで、5秒以上のグロー時間を必要とする場合は設定してください。リモコン始動などで問題がない場合は、設定を変更しないでください。

※工場出荷時は5.0秒に設定されています。

ご注意

グロー時間を7.0秒、10.0秒を選択した場合は、オルタネータ線の接続が必要です。

メモ

プッシュスタート車は変更できません。

ターボタイマー機能のON/OFF設定

ターボタイマー機能のON/OFFが設定できます。

※工場出荷時は「OFF」に設定されています。

ご注意

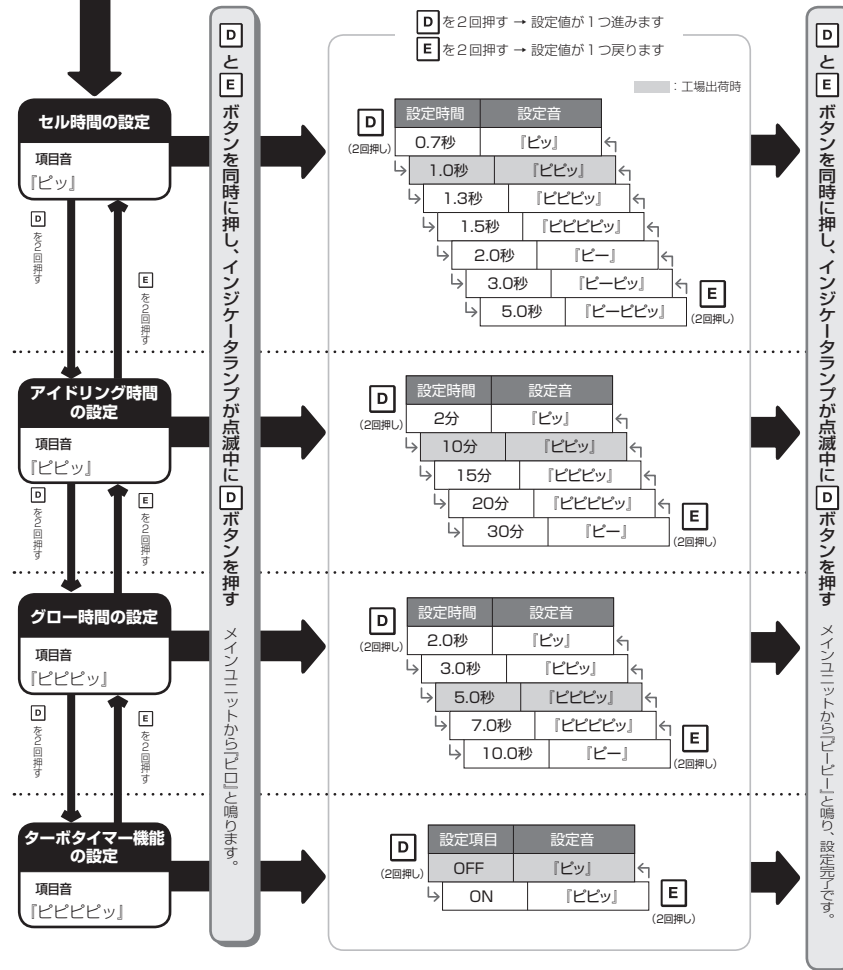
アフターアイドリング時間を手動で設定することはできません。

メモ

プッシュスタート車は変更できません。

本ページと15ページでは、**D** ボタンを **D** ボタン、**E** ボタンを **E** ボタンと表記します。

D と **E** ボタンを同時に押し、インジケータランプが点滅中に **D** ボタンを押す。
メインユニットから「ピロロロロ」と鳴ります。



※ 項目音、設定音はメインユニットから鳴ります。
※ 30秒以上ボタン操作がないと、メインユニットから「ブー」と鳴り、設定内容を無効にします。初めから操作をやり直してください。

エンジンスターターの設定

本機は一部特殊な車両でご使用いただくために、各種設定機能を設けております。

ご注意 「設定には専門知識が必要です」の記載がある項目は、不用意に設定を変更なさらないようお願いいたします。誤った設定は本機でエンジンが始動できなくなるだけでなく、セルモーター焼損など車両の走行に支障をきたす場合がございます。設定変更が必要な場合は、本機取り付け店にご相談ください。

セルモーター停止タイミング検出方法選択 (設定には専門知識が必要です)

セル時間を設定してもセルモーターの引きずりが改善されない場合に、設定を「電圧検出」に変更してご使用ください。セルモーターの引きずりがない場合は、設定変更しなくてください。

※ 工場出荷時は「オルタネータ検出」に設定されています。

メモ

プッシュスタート車は変更できません。

始動判定方法選択 (設定には専門知識が必要です)

本機でエンジン始動後、エンジン始動判定方法を選択できます。

エンジンが正常に始動したにもかかわらず、1分程度で停止してしまう場合に、設定を「特殊判定」に変更してご使用ください。

※ 工場出荷時は「判定する」に設定されています。

IG設定 (設定には専門知識が必要です)

車種別専用ハーネス適応表にて指定のある車両のみ、設定値を変更してください。上記以外の車両では設定を変更しないでください。

ポイント

工場出荷時の設定(「オルタネータ検出」を選択)をしている場合で、オルタネータ線が接続されていないときは、セル時間(●12ページ「セル時間の設定」)で、セルモーターを停止します。

ご注意

一部の車両ではセルモーター停止タイミング検出を「電圧検出」に設定しても、セルモーターの引きずりを改善できない場合があります。このような場合は設定を「オルタネータ検出」に戻して、オルタネータ配線を行ってください。

ご注意

特殊判定を選択したときは、エンジンの始動ができなかった場合でもアクセサリ電源などを停止状態(電源をOFF)にならない場合があります。ですので、頻繁にエンジンが始動しない状態が続く場合は、車両のバッテリー上がりにご注意ください。

※ 工場出荷時は「IG1+IG2」に設定されています。

メモ

プッシュスタート車は変更できません。

エンジンスターター特殊制御設定 (設定には専門知識が必要です)

車種別専用ハーネス適応表にて指定のある車両のみ、設定値を「OFF」に変更してください。上記以外の車両では設定を変更しないでください。

※ 工場出荷時は「ON」に設定されています。

メモ

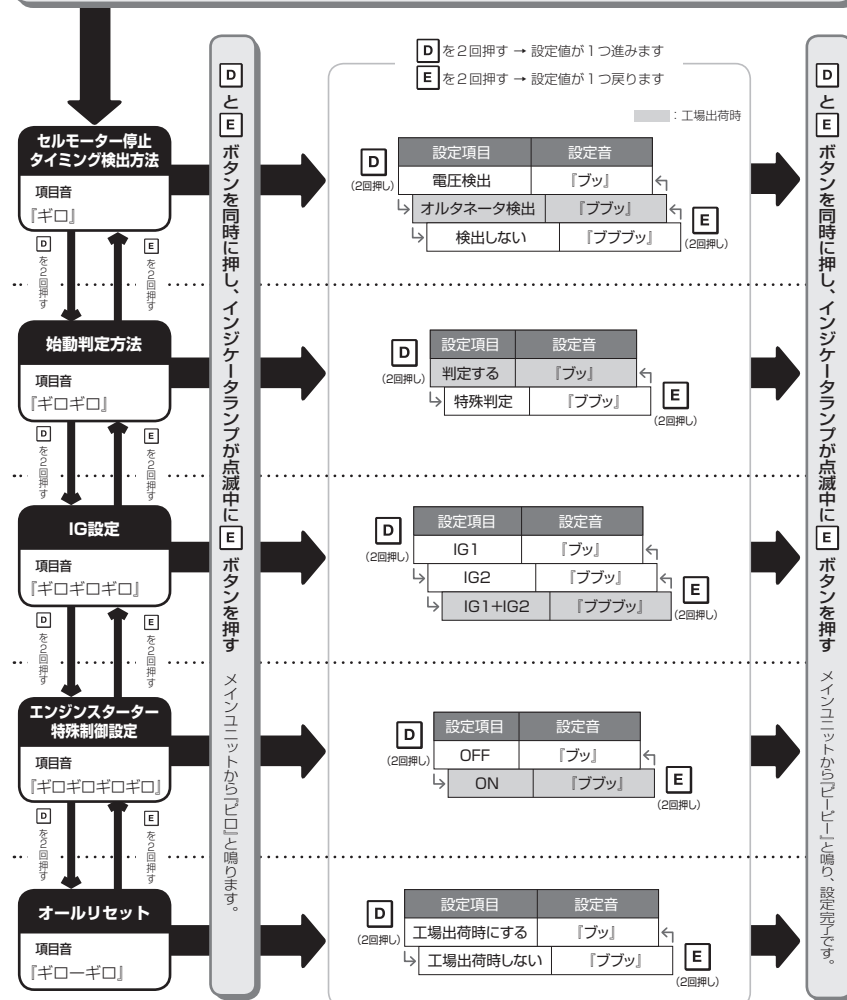
プッシュスタート車は変更できません。

オールリセット

エンジンスターターの設定(●12～15ページ)を工場出荷時の設定に戻します。

本ページと13ページでは、**D** ボタンを **D** ボタン、**E** ボタンを **E** ボタンと表記します。

D と **E** ボタンを同時に押し、インジケータランプが点滅中に **E** ボタンを押す。
メインユニットから「ギロギロ」と鳴ります。



※ 項目音、設定音はメインユニットから鳴ります。

※ 30秒以上ボタン操作がないと、メインユニットから「ブー」と鳴り、設定内容を無効にします。初めから操作をやり直してください。

操作する

メインユニットから「ギロギロ」と鳴ります。

ターボタイマー機能について

走行後のアフターアイドルリングを自動的に行う機能です。

なお、本機はこのターボタイマー機能を使う(ON)使わない(OFF)を設定できます。

アフターアイドルリングの時間はオート方式です。

■ターボタイマー機能の動作について

ターボエンジン搭載車は、走行後、すぐにエンジンを停止させると、ターボのシャフト部の焼き付きを起こす場合があります。ターボタイマー機能は、パーキング(P)またはニュートラル(N)にシフトチェンジされると動作を開始し、キーを抜いたあと、アフターアイドルリングを自動的に行い、エンジンを徐々に冷ましたあと、エンジンを停止させます。

※ターボタイマー機能は、シフトレバーがパーキング(P)または、ニュートラル(N)の位置でないと動作しません。
ただし、P・ポジション検出ができない車輛でP・ポジションインジケータランプに接続している場合は、シフトレバーがパーキング(P)の位置のときだけ動作します。シフトポジションを移動したときには動作を停止します。

■ターボタイマー機能の設定

本書「エンジンスターターの設定」でターボタイマー機能のON/OFFを設定できます。▶
12ページ「ターボタイマー機能のON/OFF設定」

■ターボタイマー機能を使用する

ターボタイマー機能をONに設定し、走行後、シフトレバーをパーキング(P)またはニュートラル(N)にすると、自動的にアフターアイドルリング動作を開始します。

※アフターアイドルリング中に、リモコンでエンジン停止の操作を行うと、エンジンは停止します。

※給油等でアフターアイドルリングが必要ないときは、リモコンでエンジンを停止するか、フットブレーキを踏んで、いったんシフトレバーをDまたはRの位置にすると、エンジンを停止することができます。

■オート方式のアフターアイドルリング時間

走行時間にあわせて、アフターアイドルリングの時間が自動的に変化します。

走行時間	アフターアイドルリング時間
0分間～10分間	約30秒間
10分間～30分間	約1分間
30分間～1時間	約1分30秒
1時間～2時間	約2分間
2時間以上	約3分間

※走行時間は、シフトレバーがパーキング(P)またはニュートラル(N)以外の位置に移動している時間をカウントしています。

※ターボタイマー機能のアフターアイドルリング時間は、パーキングポジション(P)検出から開始します。

⚠注意

ご使用になる車種により、まれに正常に働かないことがあります。
このようなときは、ターボタイマーの設定を解除してご使用ください。

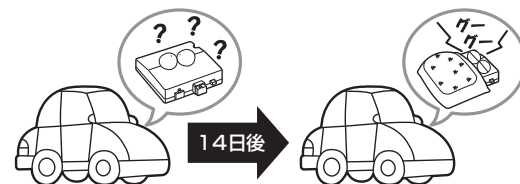
※カーラジオのON/OFFに連動して、アンテナが昇降する車では、ターボタイマーが働いてエンジンが停止しても、アンテナが降りないことがあります。

スリープ機能について

車を使用しない状態が14日間以上続くと、バッテリーの消耗を抑えるスリープ機能が働きます。

スリープ機能が働くと、本機によるエンジン始動はできません。

スリープ機能を解除するときは、1度車輛本来の操作(キー操作など)でエンジンを始動させてください。



本機を長期間使用しないときは、リモコンの電池を抜いておきます。

安全機能について

本機には、次の安全機能があります。

■P・ポジション検出

シフトレバーがパーキング(P)またはニュートラル(N)ポジション以外のときは、本機によるエンジンの始動やターボタイマー機能は動作しません。また、リモコンによる始動後、キーを差し込んだだけの状態(ONポジションまで回さない状態)でシフトチェンジすると、エンジンが停止します。

※一部の車輛では、P・ポジション検出ができないものや、できにくいものがあります。
このような場合には、フットブレーキまたはP・ポジションインジケータランプへの接続が必要です。接続しないと、本機は動作しません。
フットブレーキに接続した場合は、フットブレーキを踏むとエンジンが停止します。
またP・ポジションインジケータランプに接続した場合には、シフトレバーがパーキング(P)の位置以外ではエンジンを始動できません。



電池交換のしかた

電池を交換するときは下記の手順で電池を装着してください。

電池交換中は車輛周囲の安全を確認のうえ、不意なエンジン始動には十分にご注意ください。

●電池の交換時期について

リモコン操作できる距離が短くなった、電池寿命です。早めに新しい電池と交換してください。

●電池寿命の目安

約1年を目安に新しい電池(CR1616)と交換してください。

※使用する条件によって異なります。

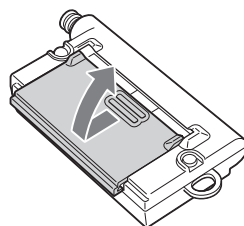
※付属(内蔵)の電池はモニター用です。モニター用の電池は、記載された電池寿命より短い期間で切れることがあります。

※指定の電池(CR1616)以外は使用しないでください。

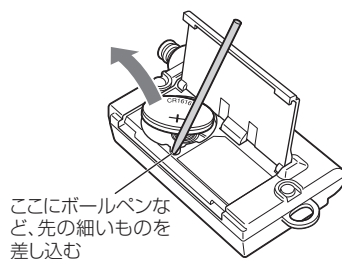
⚠警告

使用済みの電池は、火中に投げ入れないでください。爆発して、火災・火傷の原因となることがあります。また、事故防止のため、リモコンの電池は幼児の手の届かないところに保管してください。万が一お子様が飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

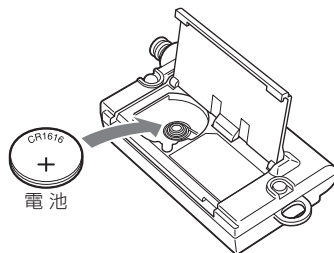
1 電池カバーを開ける



2 電池を取り出す



3 電池(CR1616)を、⊕を上にして入れる



※ リモコンを分解したり改造することは、電波法で禁止されています。

4 電池カバーを閉める

リモコンの登録方法

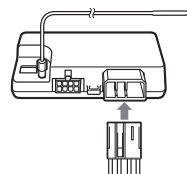
リモコンの紛失や故障などの場合は、新たなリモコンを登録することができます。

※リモコンは取り寄せ品となるため、お時間を頂戴する場合があります。あらかじめご了承ください。

※手順の途中でメインユニットから記載通りに音が鳴らない場合は、手順5に進み、再度手順1から操作を行ってください。

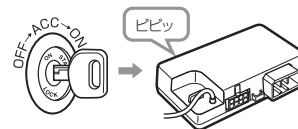
1 メインユニットからコネクター 1 をはずし、再度接続する

『ピピピッ ピピピッ ピピピッ…』と確認音が連続して鳴ります。

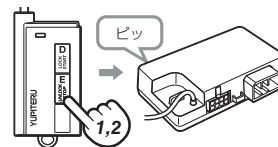


2 キーを差し込んでOFF→ACC→ONと切り替える

メインユニットから約3秒後に『ピピッ』と鳴ります。



3 『ピピッ』と鳴ってから20秒以内に、登録を行うリモコンからエンジン停止操作(⏻ボタンを押し、インジケータランプが点滅中に⏻ボタンを押す)を行う



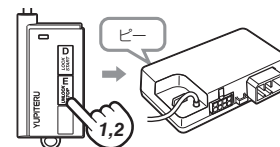
メインユニットから『ピッ』と鳴ります。

※メインユニットから『ピッ』と鳴らないときは、キーをOFFにして再度2の操作からやり直してください。

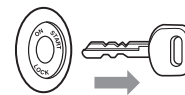
4 10秒以内に再度エンジン停止操作(⏻ボタンを押し、インジケータランプが点滅中に⏻ボタンを押す)を行う

メインユニットから『ピー』と鳴り、登録完了となります。

※メインユニットから『ピー』と鳴らないときは、キーをOFFにして再度2の操作からやり直してください。



5 ON→ACC→OFFと切り替え、キーを抜く



リモコン登録後、つづけて、P・ポジション検出の設定操作(➡ 20ページ)を行ってください。

車内で『ピピピッ ピピピッ』音が鳴っている場合

バッテリー上がりやバッテリー交換、車種別専用ハーネスの取りはずし等で常時電源が断たれた場合は、車載ユニットから『ピピピッ ピピピッ・・・』が鳴り、パーキング(P)・ポジションの設定がリセットされたことを知らせます。

※(P)・ポジションがリセットされると、本機によるエンジン始動ができません。

車のバッテリー交換やバッテリー上がり、エンジンスターターを付け替えた場合は、下記の手順でパーキング(P)・ポジションの検出・設定を行ってください。

P・ポジション検出の設定手順

『ピピピッ ピピピッ ピピピッ・・・』音が鳴っている状態で、以下の手順で設定を行ってください。

※何も音が鳴っていない場合は、車種別専用ハーネスの取り付け状態やアース線の接続場所を再度確認してください。

1 シフトレバーがP・ポジションになっていることを確認し、ブレーキペダルから足を離したまま、エンジンキー(エンジンスイッチ)をOFF → ACC → ONと切り替える

メインユニットからの『ピピピッ ピピピッ ピピピッ・・・』音が止まります。



(バッテリー交換やバッテリー上がり、本体移設後の操作)

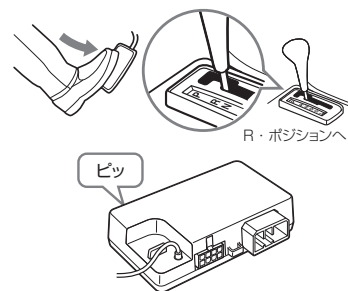
2 ブレーキペダルを踏み込み、確認音『ピッ』が鳴るか確認する

ブレーキペダルを踏み『ピッ』音が鳴らなかった場合



3 ブレーキペダルを踏んだまま、シフトレバーをパーキング(P)からリバース(R)に切り替える

約3秒後に確認音『ピッ』が鳴ります。



4 ブレーキペダルを踏んだまま、シフトレバーをパーキング(P)に戻す

『ビー』音または『ビロロロロ』音が鳴ります。



以上で設定完了です

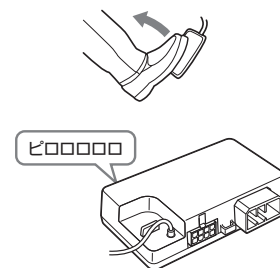
エンジンキー(エンジンスイッチ)をOFFに戻し『ピピピッ ピピピッ ピピピッ・・・』音が鳴らないことを確認してください。

ブレーキペダルを踏み『ピッ』音が鳴った場合

ブレーキ検出線が接続されています。
次のように操作してください。



3 ブレーキペダルから足を離す
確認音『ビロロロロ』が鳴ります。



</

アフターサービスについて

■保証書(裏表紙参照)

保証書は、必ず「販売店名・お買い上げ年月日」などの記入をご確認のうえ、保証内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。

■保証期間

お買い上げの日から3年間です。
(リモコンは1年、電池等消耗部品を除く)

■修理を依頼されるとき

「こんなときは」(➡ 22ページ)をよくお読みください。それでも症状の改善がないときは、故障状況をなるべく詳しくご連絡ください。

※修理期間中の代替機の貸し出しは行っておりません。あらかじめご了承ください。

●保証期間中のとき

恐れ入りますが、お買い上げの販売店に、保証書を添えて製品をご持参ください。保証書の規定に従って修理いたします。

●保証期間が過ぎているとき

取り付け販売店に、まずご相談ください。修理によって機能が持続できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。

■アフターサービスなどについてご不明な点は

お買い上げの販売店、または最寄りの弊社営業所・サービス部にお問い合わせください。

■リモコンを紛失や破損したとき

リモコンを紛失や破損したときは、新しいリモコンを登録(有償)することができます。詳しくはお買い上げの販売店にご相談ください。

※リモコンは取り寄せ品となるため、ご来店当日の登録ができない場合があります。あらかじめご了承ください。

ユピテルご相談窓口一覧

お問い合わせの際は、製品の機種名をご確認のうえ、使用状況もいっしょにご相談ください。

故障相談や修理のご依頼、販売店の紹介に関するお問い合わせ

受付時間 9:00～17:30 月曜日～金曜日
(祝祭日、年末年始等、当社指定期間を除く)

地 区	名称・電話番号・所在地
北海道	札幌営業所・サービス部 TEL. (011)618-7071 〒060-0008 北海道札幌市中央区北8条西18丁目35-100 エアリービル1F
青森・岩手・宮城・秋田・山形・福島	仙台営業所・サービス部 TEL. (022)284-2501 〒984-0015 宮城県仙台市若林区卸町4-8-6 第2喜和ビル1F
栃木・群馬・茨城・埼玉・千葉・東京・神奈川・山梨・新潟・静岡	東京営業所・サービス部 TEL. (03)3769-2525 〒108-0023 東京都港区芝浦4-12-33 芝浦新本ビル3F
岐阜・愛知・三重・富山・石川・長野・福井	名古屋営業所・サービス部 TEL. (052)769-1601 〒465-0092 愛知県名古屋市中東区社台3-181
滋賀・京都・大阪・兵庫・奈良・和歌山・徳島・香川・愛媛・高知	大阪営業所・サービス部 TEL. (06)6386-2555 〒564-0051 大阪府吹田市豊津町53-10
鳥取・島根・岡山・広島・山口	広島営業所・サービス部 TEL. (082)230-1711 〒731-0135 広島県広島市安佐南区長束1丁目34-22-102
福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島・沖縄	福岡営業所・サービス部 TEL. (092)552-5351 〒815-0035 福岡県福岡市南区向野2-3-4-2F

取扱方法に関するお問い合わせ

受付時間 10:00～18:00 月曜日～金曜日
(祝祭日、年末年始等、当社指定期間を除く)

お客様ご相談センター TEL. (0564)45-6515

- 上記窓口の名称、電話番号、所在地は、都合により変更することがありますのでご了承ください。
- 電話をおかけになる際は、市外番号などをお確かめのうえ、おかけ間違いのないようご注意ください。

1. 表面記載の保証期間内に、取扱説明書等の注意書に従った正常なご使用状態で故障した場合には、無料修理いたします。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合には、機器本体及び本書をご持参、ご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
3. ご転居や贈答品などで本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼できない場合には、最寄りの弊社営業所・サービス部へご相談ください。
4. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
 - (イ) 使用上の誤り、または不当な修理や改造による故障及び損傷
 - (ロ) お買い上げ後の移動、落下等による故障及び損傷
 - (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、指定外の使用電源(電圧、周波数)や異常電圧による故障及び損傷
- (二) 特殊な条件下等、通常以外の使用による故障及び損傷
- (ホ) 故障の原因が本製品以外にある場合
- (ヘ) 本書のご提示がない場合
- (ト) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
- (チ) 付属品や消耗品等の消耗による交換

- | 故障内容記入欄 |
|---------|
| |

※弊社営業所・サービス部は(●25ページ)をご覧ください。